

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	子宮体がんリンパ節転移予測診断マーカーを用いた術中迅速検査技術の開発
	研究目的	子宮体がんの手術では、がんのある子宮と周辺のリンパ節などがん細胞が転移している可能性のある範囲を切除しますが、リンパ節切除はリンパ浮腫を引き起こすことがあり、その後の生活に悪影響を与えることがあります。もし、リンパ節転移の有無を手術前に見分けることができれば、負担の少ない治療が可能となります。 これまでに、リンパ節転移のあるがんとないがんで遺伝子発現を比較し、高い精度でリンパ節転移の有無を見分けられる2つのマーカー遺伝子を発見しました。本研究では、これらの2つのマーカー遺伝子を早く正確に測ることができるリンパ節転移診断法を開発し、「女性にやさしい個別化医療」の実現を目指します。
	研究対象者	当センター婦人科で包括同意により子宮体がん組織を提供頂いた方
	研究期間	西暦 2018 年 11 月 9 日～西暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(凍結組織) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	加藤久盛
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	【研究代表機関および研究代表者】 順天堂大学医学部産婦人科 教授 寺尾泰久 【共同研究機関および研究責任者】 国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 遺伝子制御回路研究チーム専任研究員・伊藤昌可 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 科長 加藤友康 日本医科大学大学院 産婦人科学 教授 鈴木俊治 東京理科大学 工学部情報工学科 教授 寒水孝司 公益財団法人東京都医学総合研究所 副参事研究員 川路英哉
	営利団体、民間機関等、試料解析の委託先	【委託先】 株式会社ダナフォーム 【解析を委託する試料】 匿名化した凍結組織から抽出した RNA (遺伝子解析が目的のため、診療記録、臨床検査データは提供しない)